

アニコム損害保険 株式会社

錠 直也様(人事部・課長)

■ 企業プロフィール

本社所在地	東京都新宿区下落合 1-5-22 アリミノビル 2階
代表取締役	小森 伸昭
設立	2008年1月10日
社員数	232名
事業内容	ペット動物専門損害保険の取り扱い (日本初のペット動物専門損害保険会社)

■ インタビュアー

東京富士大学・黒田 秀雄ゼミナール(経営学科)
袁 野(3年)、下川 英久(2年)、須藤 洋介(2年)
東京富士大学 山川 悟ゼミナール(ビジネス心理学科)
浜岡 実可子(3年)、森崎 愛理(3年)

■ 訪問日・2014年10月30日(木)



～貴社は、日本初のペット動物専門損害保険会社としてスタートされました。この事業を手掛けようとされたきっかけを教えてください。

アニコム代表取締役社長・小森伸昭は創業以前、大手損害保険会社に勤めていました。しかし、それまでの損害保険会社のあり方に疑問を感じており、自ら保険会社を起業することで、保険制度を改善していこうと考えていました。

小森自身も大のペット好きですし、弟さんが獣医をされていることもあり、日本では定着していなかったペット保険事業の立ち上げを目指しました。当初は任意組合「anicom（動物健康促進クラブ）」会員向けの共済制度としてスタートしましたが、のちに損害保険業免許を取得し、現在に至ります。しかしこれは簡単にできることではなく、保険会社の免許を取得するためには、内閣総理大臣の認可が必要です。資本金 10 億円以上の企業規模、社内体制、保険の募集体制、経営層、商品知識、そして対応がスムーズかどうかなど、細かいところまで見られます。これらの条件をクリアして、2008 年から営業を開始しました。

～ペット保険とはどういう種類の商品なのでしょう？

日本ではペットブームが続いていますが、動物には公的な健康保険制度がないため、治療費は飼い主さんの全額自己負担となります。しかしペット保険を利用することで、経済的な不安を感じることなく、動物病院での治療が可能になります。

ペット保険では、動物のケガ、病気などの治療費や、賠償責任の立て替えなどを補償します。いま 5,500 ほどの「どうぶつ健保」対応動物病院とパートナー関係にあります。こうした提携医療機関を増やし、お客様が利用しやすい環境をつくっていくことがこれからの課題と考えています。かつては、お客様が窓口で支払った金額を後で請求してもらう仕組みでしたが、ペットの保険証を提示すれば保険適用後の料金で治療を受けられる形に変えました。ですからペット保険はいまや、人間の保険証と同じ機能を果たすところまで来ています。

～ペット保険のビジネスとしての可能性を教えてください

当社における保有契約は約 50 万件、2013 年度の保険金のお支払い件数は約 230 万件にも達しており、いまや多くの飼い主さんたちに利用いただいています。今日、国内ペット保険市場には当社以外にも、アクサダイレクト、アイペット損保、au 損保などの企業が参入してきており、欧米に続く規模にまで発展しました。

しかしまだまだ動物を飼っている人しか知らないサービスですし、犬・猫を飼育している人のペット保険加入率はわずか 4%程度といわれています。そのためリーディングカンパニーである当社が、ペット保険そのものを日本に定着させてく努力をしている最中です。

例えば動物病院での窓口精算システムや、しつけ・病気予防・迷子捜索といった顧客向けの綿密な情報提供サービスなど、さまざまな試みを行って来ています。

～アニコムグループでは、ani(命)+communication(相互理解)=∞(無限)、“命あるものがお互いに理解し、ともに一つの目的に向かって力を合わせることで、これまで不可能と思われていたことを可能になると考えている”を経営理念に据えておられます。この理念について、詳しく教えてください。

保険は安心を提供するサービスといわれていますが、保険会社のおかげで病気や怪我が少なくなるわけではありません。しかし創業者の小森は、保険があったおかげで病気や怪我が少なくなる世の中をつくりたいと考えました。そのひとつの方法は、保険会社を介して、条件の似ている人にリスクと予防策を教えることです。当社では保険金支払データの分析などを通じて、ペットの怪我や病気を予防する情報提供に努めています。飼い主の方の涙を減らし、笑顔を生み出す保険会社を目指そう、というのが経営方針です。

ちなみに「ani」はラテン語で「命(anima)」という意味です。命と命のつながりを大切にする、人と動物との絆の深さを社名と経営理念に込めているのです。

この理念は、創業から14年たった今でも全く色褪せるどころか、年々この理念に対する社員の意識は上がっていると思っています。私は経営環境が変わっても、この理念を変える必要性はないと考えています。

～企業理念を浸透させるためにしていることは何でしょうか？

社員一人一人に理念を胸に刻ませるため、社長自身が毎日朝礼を開き、訓話を行なっています。例えば最近では「鬼に金棒」という話が印象に残っています。鬼に金棒とは、ただでさえ強いものに、一層の強さが加わることですよね。社員は常に成長を心掛けることが必要ですが、更に強くなるためにはどうしたらよいか。それは、夢を明確に持つことです。夢があれば、そこに向かってより一層努力する。逆を言えば、夢がなければ妥協し、成長が止まる。鬼になって金棒を持てる社員を目指そうという話でした。

当社には、社員の目に入る場所に社訓や、お客様のご意見が掲示されており、日常の業務環境で理念や仕事に対する考え方を意識させるようなオフィスづくりをしています。

～貴社のモットーについて、もう少し詳しく教えてくださいませんか？

信頼感とオープンマネジメント、という点を大切にしています。このオープンマネジメントは最近、「見える化」という言葉で言い表されることもありますね。

例えば当社のHPでは、お客様からのお問合せ、ご意見などをまとめて公開していたり、誰でも書き込めて閲覧できる掲示板を通してお客様と対話することができます。また、オフィスの様子をリアルタイムで見ることが可能で、お客様に社内の様子を知ってもらえるような取り組みをしています。保険という商品は手に取れないものですので、自社を開示することが信用につながる、という考え方にに基づき、このような試みを続けています。

さらに当社のオフィスには部署間の壁はなく、会議室はすべてガラス張りにして、オープンな環境で仕事をしています。

～貴社の人事に関する方針を教えてください

社員数は 240 名ほどで、うち女性が 6 割、男性が 4 割の比率です。社員は動物好きが多いので、女性の方の方が集まる傾向にあります。管理職社員は 4 割が女性、6 割が男性で女性管理職が少ないように見えますが、これは一般企業の 4 倍となっており、女性が活躍する職場といえます。

それとジョブローテーション（人事異動）を積極的に行っていることも特徴のひとつです。人事異動は通常 3 年から 5 年くらいで実施されるのが一般的と言われていますが、当社では 2 年ないし 1 年に一度、早い人は半年で異動というケースもあります。これは、新しい環境で働くことによってより成長の促進になるという考え方から行っている施策です。

～錠課長ご自身が、貴社に入社されてよかったことはどんなことでしょうか？

まずは、当社の成長を肌で感じられることでしょうか。私は入社から 9 年経ちますが、奇しくも入社と同時期に当社は損害保険業のスタートを切りました。従って、自らの努力が会社の成長と直結しますし、自らの成長と会社の成長が重なる喜びを感じています。

また私は現在、人事部に所属しており、社員教育や採用、人事異動などを通して、会社の成長、社員の成長を間近で感じられるので、たいへんやり甲斐を感じています。

■インタビュー所感

アニコム様のオフィスは空間を遮る壁がなく、ガラスの仕切りのみ、つまり全員が全員を見ることができる「完全フラット型」でした。当日も社員の方の働く様子や、ミーティング風景など、普通の企業では見られないところを見せて頂きました。「見たくない(社員の怠惰や不正)ものを見てしまうことはないのか」とお聞きしたところ、オープンだからこそそのようなことは生じない、というお答えでした。また、就業中のオフィス風景をリアルタイムで web 配信しているところ、そして web 掲示板で顧客または第三者と社員のやりとりを誰でも見ることができる徹底したオープンマネジメントの姿勢には感銘いたしました。人事部の錠様、ありがとうございました。(経営学科 2 年 須藤洋介)